

The background of the slide is a high-angle aerial photograph of a large offshore oil rig. The rig is a complex of orange and white metal structures, including a tall derrick and various platforms, situated in the middle of a deep blue ocean. Several smaller support vessels are visible around the rig. The sky is a pale blue with some light clouds.

国際石油開発帝石株式会社
2018年3月期 第2四半期
決算説明会

2017年(平成29年)11月9日

- 事業活動報告
- 2018年3月期 第2四半期決算説明

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

事業活動報告

代表取締役社長
北村俊昭

2018年3月期 第2四半期決算説明会 ハイライト



決算・業績予想	- 2018年3月期 第2四半期決算 ・ 連結売上高 4,479億円(前年同期比15.0%増) ・ 親会社株主に帰属する純利益 301億円(前年同期比91.7%増) - 2018年3月期 業績予想 ・ 連結売上高 8,770億円(予想) ・ 親会社株主に帰属する純利益 520億円(予想)
主要プロジェクト	- <u>イクシスLNGプロジェクト</u>: 沖合施設・陸上施設の試運転を中心に作業中。今期中に生産開始予定 - <u>アバディLNGプロジェクト</u>: 陸上方式を前提とし、Pre-FEED(概念設計)に係る準備作業を実施中 - <u>カスピ海ACG鉱区</u>: 権益期限を2049年末まで25年間延長につきアゼルバイジャン国営石油会社と合意 - <u>マハカム沖鉱区</u>: 現行PS契約は2017年末で終結。2018年以降の新PS契約への参画に向けて協議中 - <u>国内天然ガス事業</u>: 新たに都市ガス事業者3社との電力卸販売に関し合意。2018年3月期天然ガス販売量見通しは 20.9億m³
ネット生産量	- 2018年3月期第2四半期実績 日量約48.1万バレル(原油換算)

2018年3月期 上半期事業活動 ハイライト



上流事業の持続的拡大

- オーストラリア プレリウドFLNGプロジェクトにおけるFLNG船の出航(6月)
- アゼルバイジャン カスピ海ACG鉱区の権益期限の延長(9月)
- ノルウェー バレンツ海西部PL767鉱区(探鉱鉱区)の権益取得(9月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト沖合生産・処理施設(CPF)及び沖合生産・貯油出荷施設(FPSO)のイクシスフィールド到着、係留、接続完了(10月)

ガスサプライチェーンの強化

- LNGマーケティング関連機能の更なる強化・組織改編(6月)
- ガスバリューチェーン・ビジネスの展開に向けた組織改編(7月)
- 新たな都市ガス事業者3社への電力卸販売開始に向けた合意(7月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト 台湾CPC向けLNG船の命名式(9月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト 直江津LNG基地向けLNG船の命名式(10月)

再生可能エネルギーへの取り組み強化

- 再生可能エネルギー及び電力事業の強化に向けた組織改編(9月)
- インドネシア サルーラ地熱IPP事業 第2号機の商業運転開始(10月)

イクシスLNGプロジェクト 概要

INPEX

■ 作業現況:

- ✓ 主要施設にて試運転作業中
- ✓ 今期中に順次生産開始、その後生産物を出荷

■ 生産計画:

- ✓ 生産期間: 約40年
- ✓ LNG 年間約890万トン(プラト一時)
⇒ 当初840万トンより生産能力6%増
⇒ 約20年間ピーク生産量を維持
- ✓ LPG 年間約165万トン(プラト一時)
⇒ 160万トンから約4%生産能力増加の見込み
- ✓ コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)

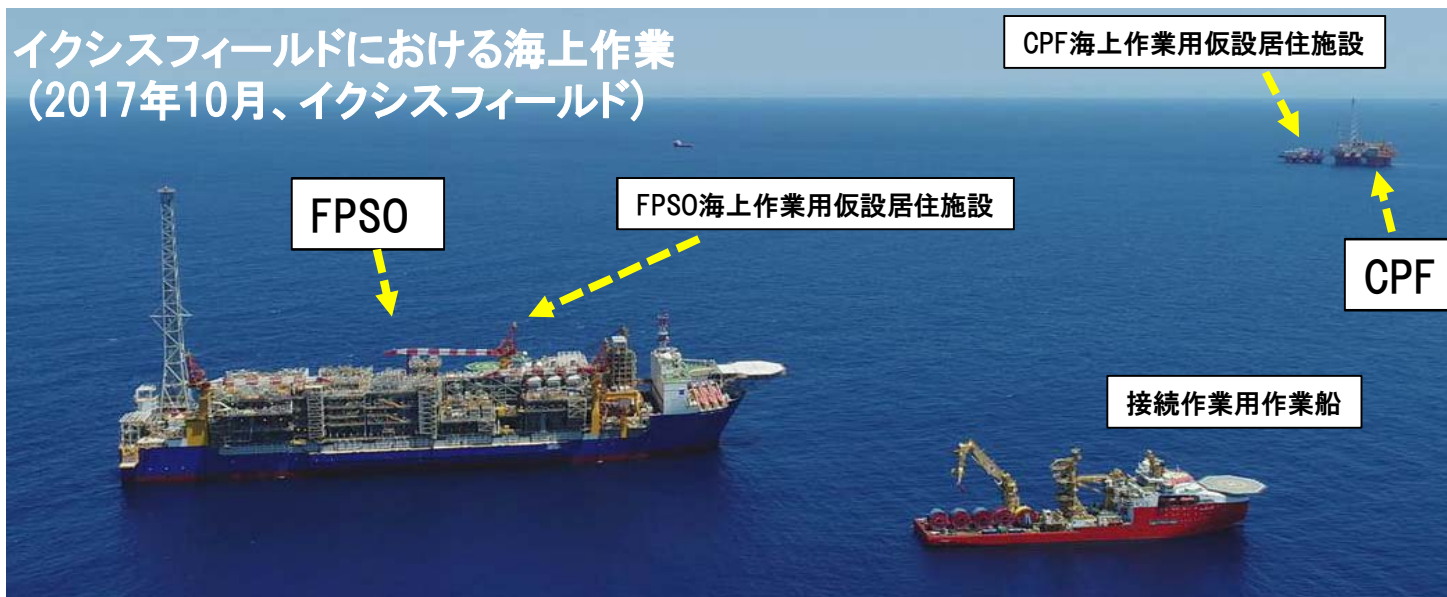
■ 確認埋蔵量

- ✓ 約9.3億 BOE (当社権益比率62.245%ベース)

■ 複数の周辺鉱区保有、今後のポテンシャル期待

■ マーケティング

- ✓ LNG: 年産840万トン分売買契約締結済
- ✓ LPG: 当社権益全量等の売買契約締結済



イクシスLNGプロジェクト 沖合施設・生産井①

INPEX



主なマイルストーン(2016年～)

マイルストーン	達成
海底フローラインの敷設完了	✓
海底生産施設類の設置完了	✓
CPFの出航	✓
CPFの係留	✓
FPSOの出航	✓
FPSOの係留	✓
CPF/FPSOと海底生産施設の接続完了	✓
生産井からの生産開始	

※CPF:沖合生産・処理施設 FPSO:沖合生産・貯油出荷施設

イクシスLNGプロジェクト 沖合施設・生産井②

INPEX



- ✓ 生産開始に必要な生産井の掘削作業が完了
- ✓ CPF/FPSOと海底生産施設の接続作業が完了
- ✓ 生産開始に向けて各施設の試運転作業中

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設①

INPEX

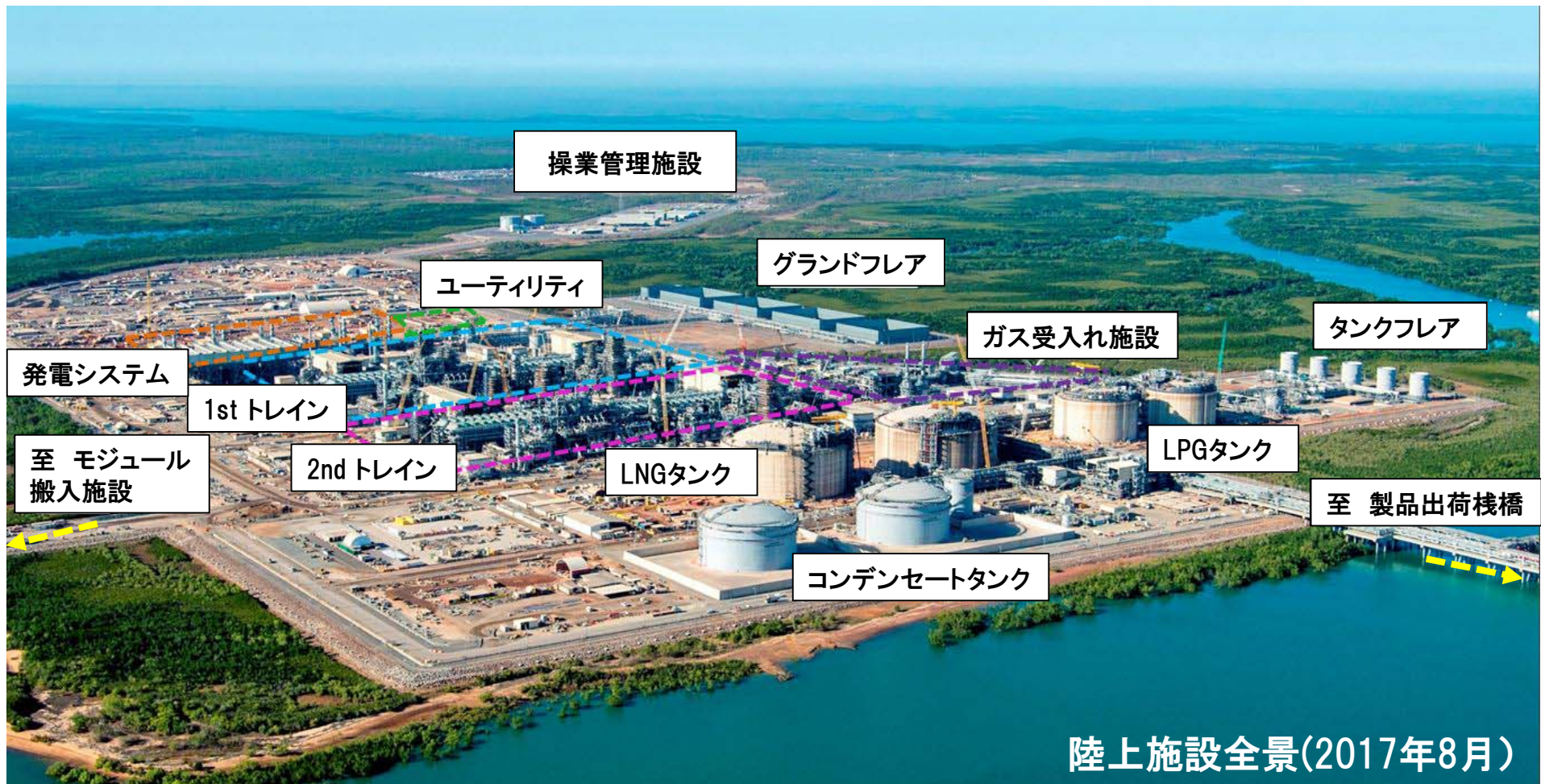


主なマイルストーン(2016年～)

マイルストーン	達成
製品出荷棧橋の完成	✓
全230モジュールの完成・搬入完了	✓
ガス輸送パイプライン(陸上部分)敷設・ガスの受け入れ準備完了	✓
全製品タンクの水張試験完了	✓
発電施設稼働準備完了	✓
LNG設備ガス受け入れ準備完了	
ガスの受け入れ開始・各製品の生産開始	

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設②

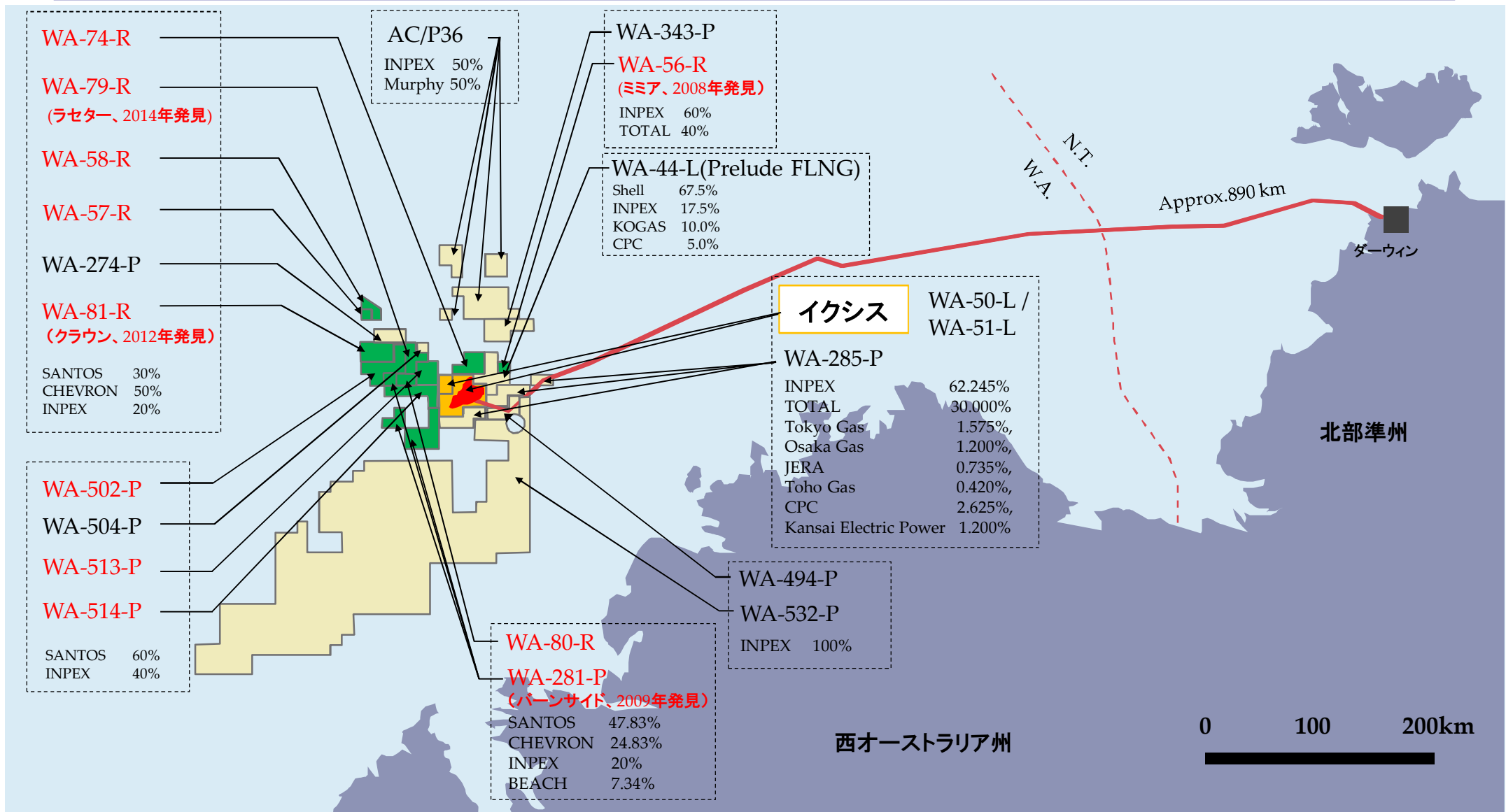
INPEX



- ✓ 2015年～2016年にかけて建設工事がピーク
- ✓ 現在、主要設備の建設工事はほぼ完了
- ✓ 生産開始に向けて各施設の試運転作業中

イクシスLNGプロジェクト 周辺探鉱鉱区

INPEX

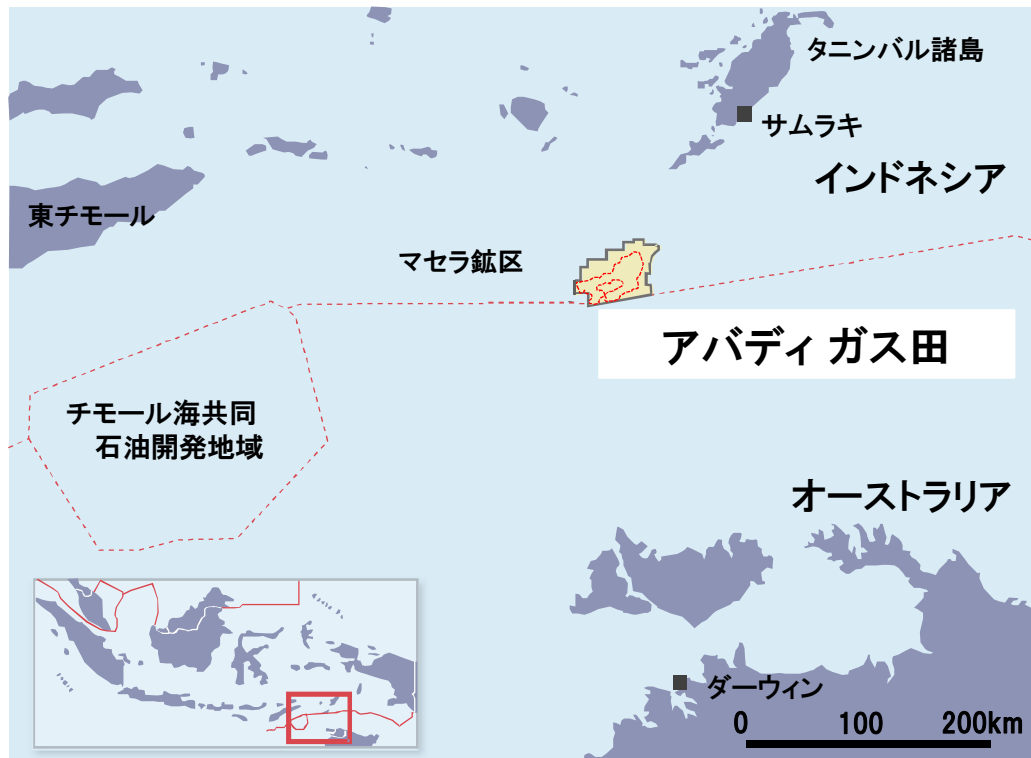


✓ イクシス周辺に新規取得 WA-532-P を含め18の探鉱鉱区を保有。これまでにクラウン、ラセター、ミミア、バーンサイド等のガス構造を発見し、これらのガス構造は少なくとも11鉱区に亘る

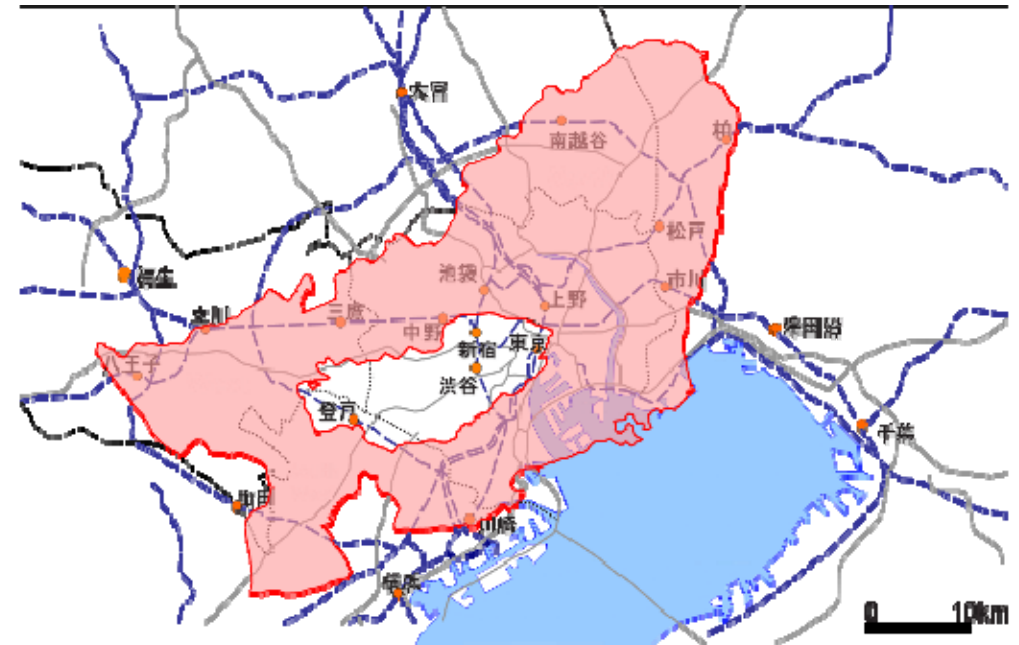
11 ✓ 従前よりダーウィンに複数の追加トレインが建設可能な用地確保済

アバディLNGプロジェクト

INPEX



マセラ鉱区のロケーション



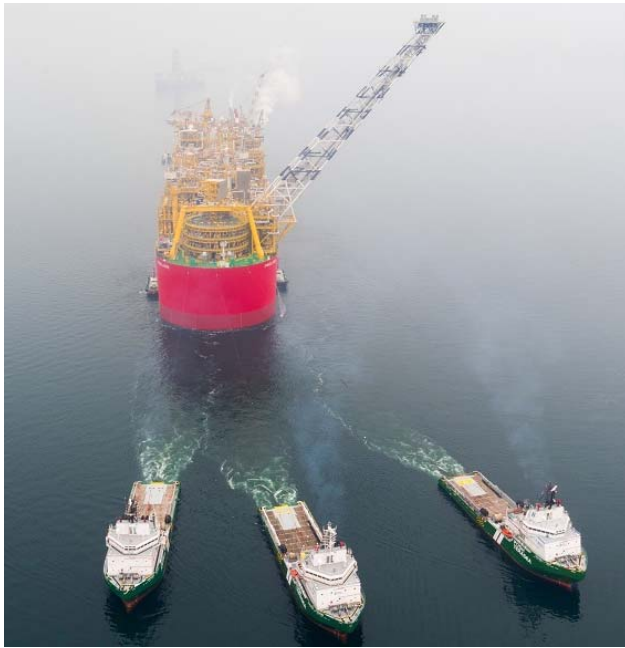
アバディガス田（イメージ）

- インドネシア政府とのこれまでの建設的な協議結果を踏まえ、陸上方式を前提としたPre-FEED(概念設計)に係る準備作業を実施中
- 2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、更に9月にはPriority Infrastructure Projectに認定

2018年3月期 上半期 トピックス

INPEX

プロジェクトの進展(上半期実績)



オーストラリア: プレリウドFLNGプロジェクト (開発プロジェクト)

- 2017年6月、FLNG船が建造地の韓国から出航し、7月に現場海域へ到着
- 係留作業が完了し、試運転を実施中
- 当社権益:17.5%
(オペレーター:Shell)

アゼルバイジャン共和国 カスピ海ACG鉱区 (生産プロジェクト)

- 2017年9月、権益期限を2049年末まで25年間延長することにつき、当社を含む権益保有者とアゼルバイジャン国営石油会社との間で合意
- 当社権益:10.9644%*
(オペレーター:BP)

*PS契約改定に伴い、当社権益比率は9.3072%へ変更予定。改定PSAは2018年1月1日発効見込み

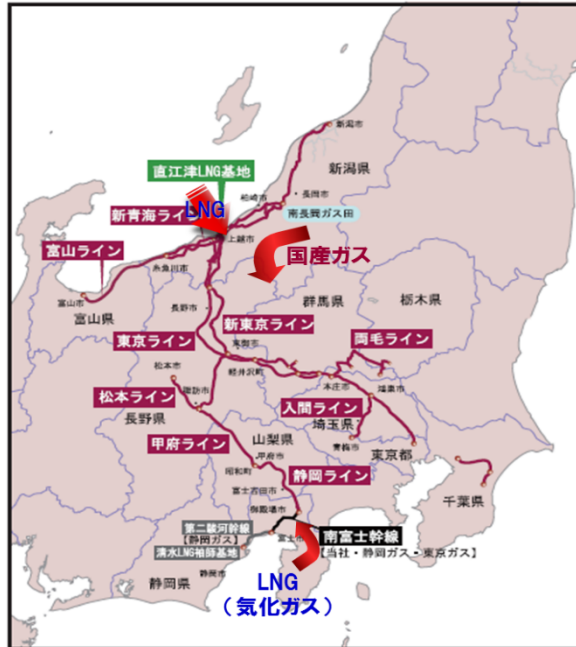
ノルウェー王国 バレンツ海西部PL767鉱区 (探鉱プロジェクト)

- 2017年9月、権益40%をBayerngas Norge AS社から取得することに合意
- 同国において当社が参画する初のプロジェクト
- 当社権益:40%
(オペレーター:Lundin Norway AS)

ガスサプライチェーンの強化および 再生可能エネルギーへの取り組み強化

INPEX

国内天然ガス事業



- 2017年7月、中部電力との「電力卸販売の共同実施に向けた基本合意書」に基づき新たに都市ガス事業者3社との電力卸販売に関する合意
- 天然ガス販売
 - 2017年3月期販売量:19.1億m³*
 - 2018年3月期販売量見通し:20.9億m³*

* 1m³当たり41.8605MJ換算

地熱発電事業

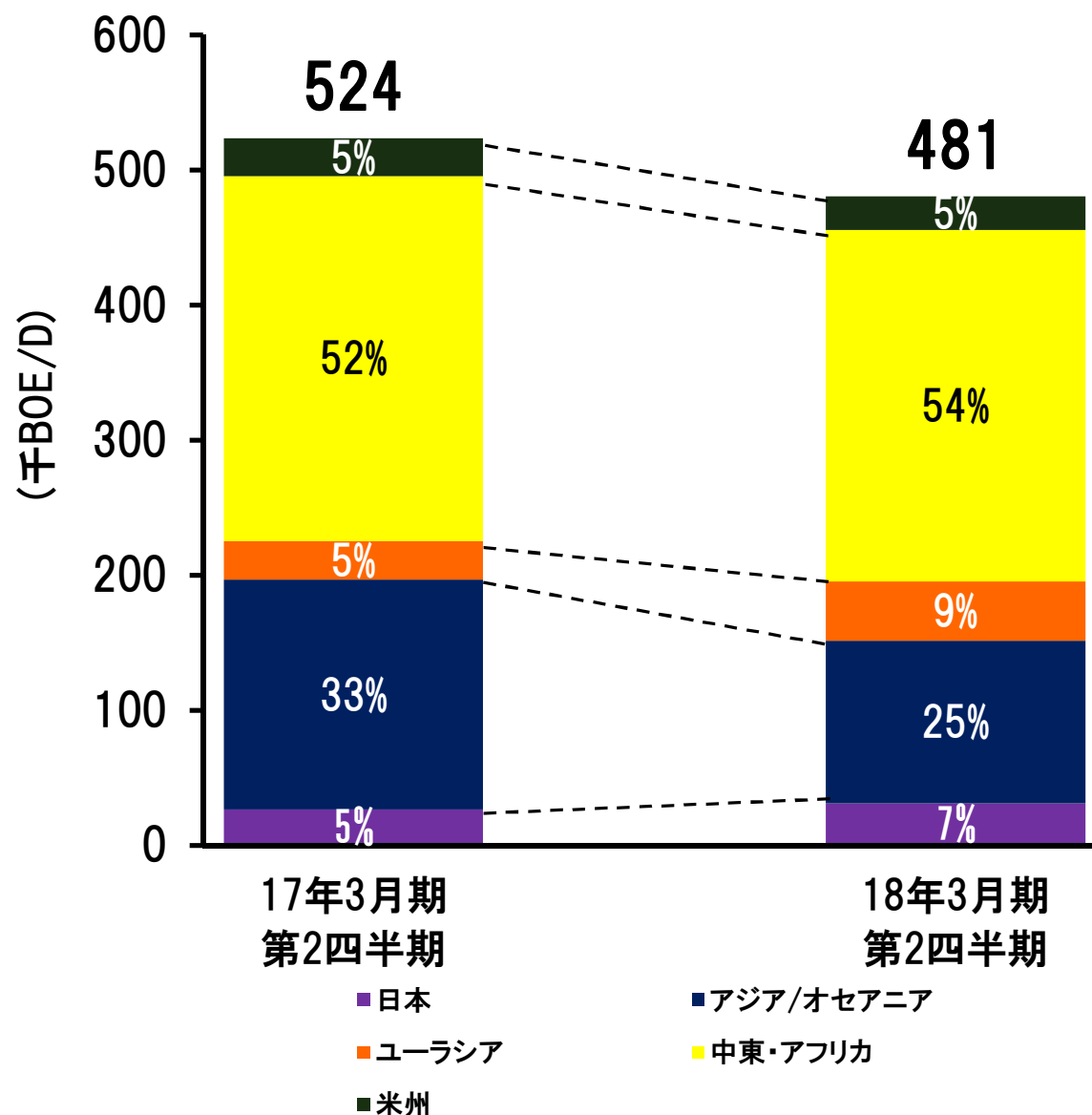


サルーラ地熱IPP事業

- インドネシア：サルーラ地熱IPP(独立系発電事業者)事業
 - 出力約 330MWの地熱発電所は単一開発契約としては世界最大規模
 - 2017年3月に1号機(110MW)、10月に2号機(110MW)の商業運転開始。現在、3号機の商業運転開始を目指し推進中

2018年3月期 第2四半期 ネット生産量*

INPEX



* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

2018年3月期 第2四半期 決算説明

取締役
専務執行役員
財務・経理本部長 村山昌博

2018年3月期 第2四半期決算ハイライト



	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	3,896	4,479	582	15.0%
原油売上高	2,758	3,309	550	20.0%
天然ガス売上高(LPG含む)	1,080	1,108	28	2.6%
その他	57	61	3	6.6%
営業利益 (億円)	1,380	1,858	477	34.6%
経常利益 (億円)	1,321	1,954	632	47.8%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	157	301	144	91.7%
1株当たり純利益 (円)	10.77	20.65	9.88	91.7%

期中平均株式数(連結)2018年3月期第2四半期 1,460,357,100株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	47.01	51.49	4.48	9.5%
期中平均為替 (¥/\$)	105.26	111.05	5円79銭円安	5.5%円安

原油売上高

INPEX

	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	2,758	3,309	550	20.0%

販売量 (千bbl)	59,970	57,530	△ 2,440	△ 4.1%
海外平均単価 (\$/bbl)	43.08	51.25	8.17	19.0%
国内平均単価 (¥/kl)	32,003	37,780	5,777	18.1%
平均為替 (¥/\$)	106.65	111.44	4円79銭円安	4.5%円安

地域別販売量 (千bbl)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
日本	415 (66.0千kl)	470 (74.8千kl)	55 (+8.8千kl)	13.3%
アジア・オセアニア	6,548	4,160	△ 2,389	△ 36.5%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	6,260	5,981	△ 280	△ 4.5%
中東・アフリカ	45,734	45,979	245	0.5%
米州	1,012	940	△ 72	△ 7.1%
合計	59,970	57,530	△ 2,440	△ 4.1%

天然ガス売上高(LPG除く)

INPEX

	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	1,043	1,083	39	3.7%

販売量 (百万cf)	165,837	151,351	△ 14,487	△ 8.7%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	4.83	5.14	0.31	6.4%
国内分平均単価 (¥/m ³)	43.88	45.64	1.76	4.0%
平均為替 (¥/\$)	105.87	110.71	4円84銭円安	4.6%円安

地域別販売量 (百万cf)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
日本	29,523 (791百万m ³ *)	34,005 (911百万m ³ *)	4,482 (+120百万m ³ *)	15.2%
アジア・オセアニア	118,646	92,664	△ 25,982	△ 21.9%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	3,724	3,724	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	17,668	20,957	3,289	18.6%
合計	165,837	151,351	△ 14,487	△ 8.7%

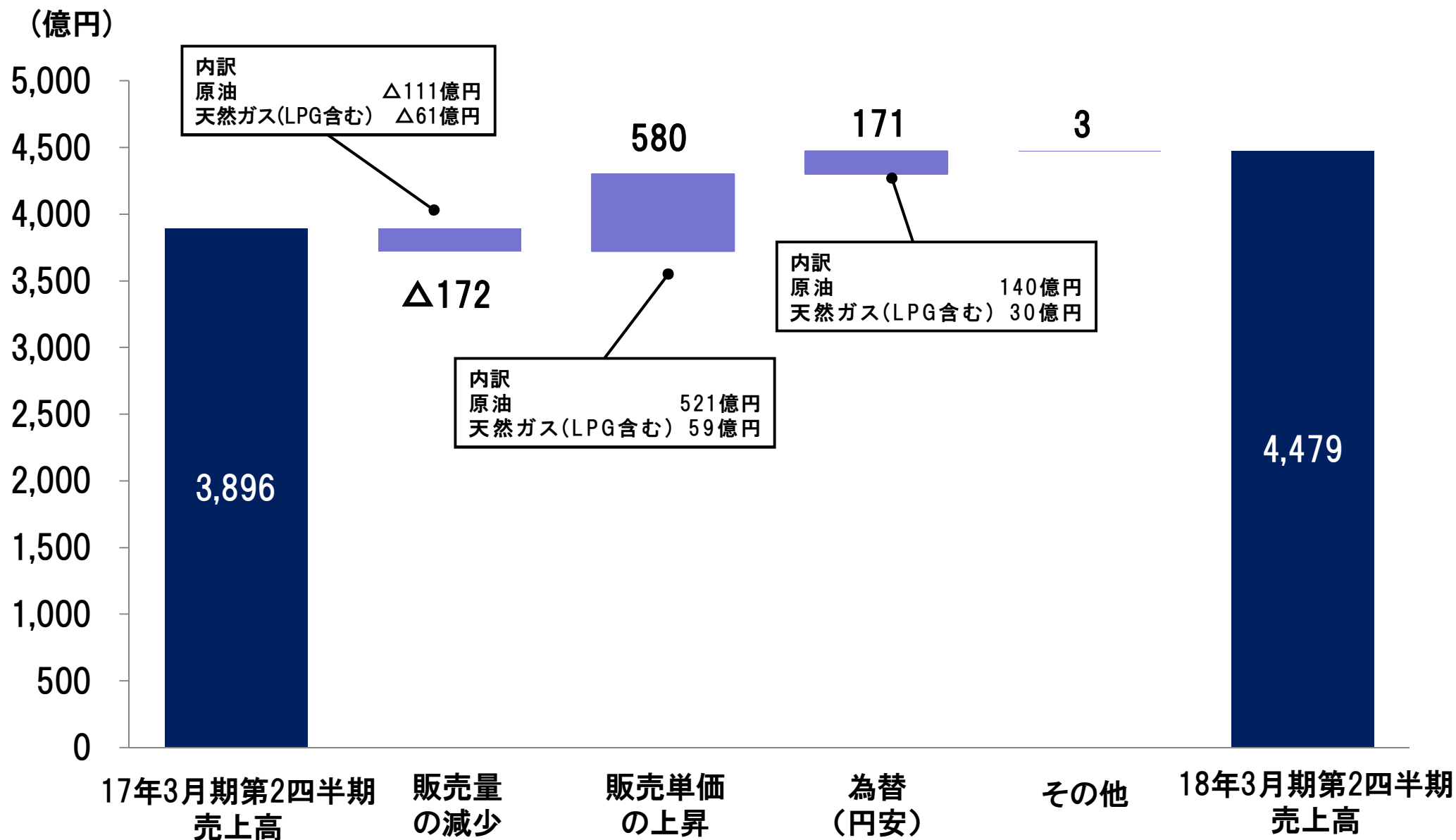
※ LPGの売上高は以下の通り。

*1m³当たり41.8605MJ

	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	36	25	△ 10	△ 29.7%

2018年3月期第2四半期 売上高 増減要因分析

INPEX



損益計算書

INPEX

(億円)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率	
売上高	3,896	4,479	582	15.0%	●
売上原価	2,101	2,221	120	5.7%	●
売上総利益	1,795	2,257	462	25.7%	●
探鉱費	24	9	△ 15	△ 61.6%	
販売費及び一般管理費	389	389	△ 0	△ 0.1%	
営業利益	1,380	1,858	477	34.6%	
営業外収益	164	156	△ 7	△ 4.8%	
営業外費用	223	60	△ 162	△ 72.8%	●
経常利益	1,321	1,954	632	47.8%	
法人税等合計	1,074	1,615	541	50.4%	
非支配株主に帰属する純損益	89	36	△ 53	△ 59.2%	
親会社株主に帰属する純利益	157	301	144	91.7%	

販売量の減少 △172
販売単価の上昇 +580
為替(円安) +171
その他 +3

原油売上原価: 1,568
(増減) +152
天然ガス売上原価(注): 603
(増減) △27
(注)LPGを含む。

主な要因
為替差損 (増減△171)

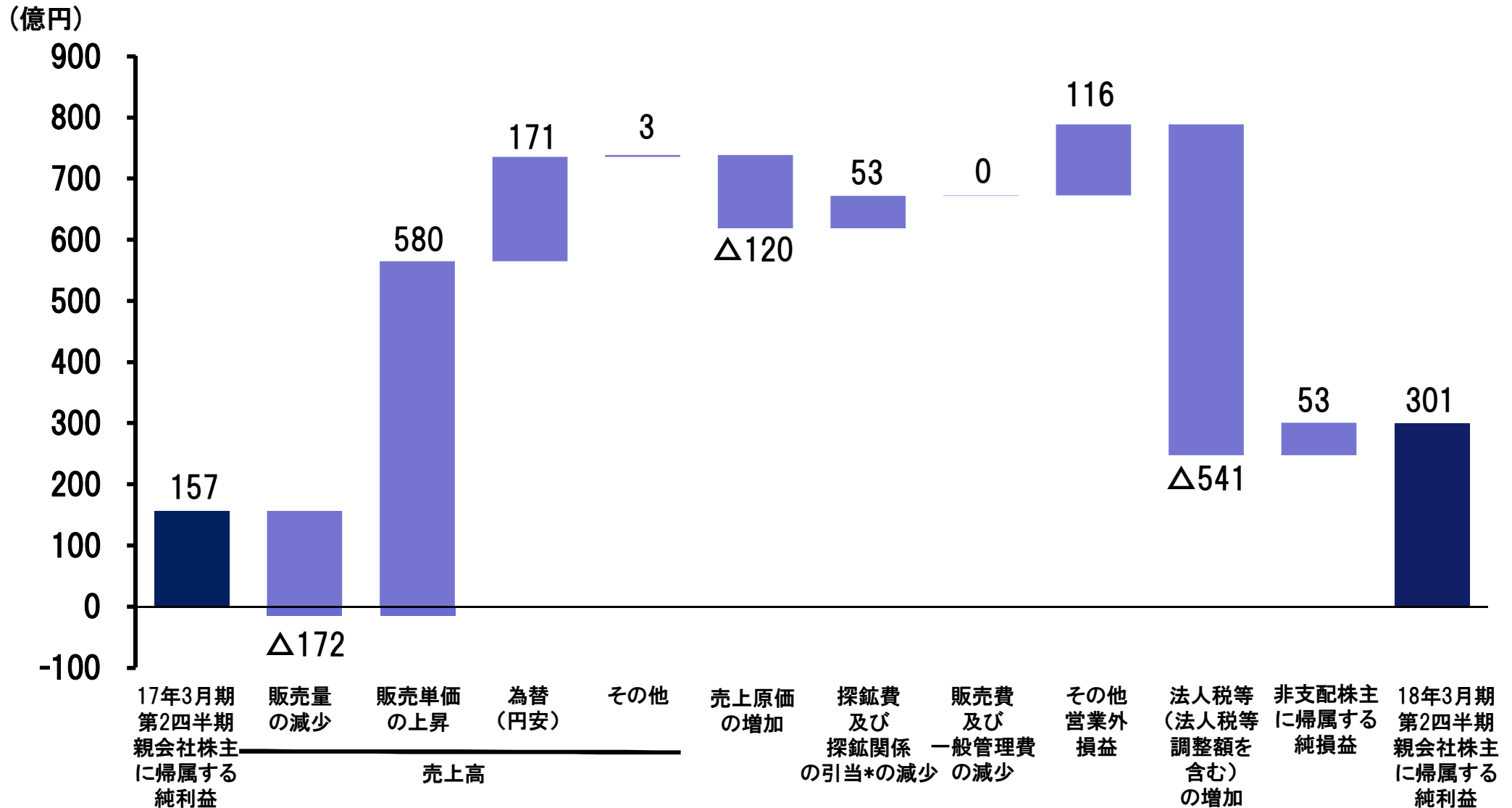
営業外収益・費用

INPEX

(億円)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
営業外収益	164	156	△ 7	△ 4.8%
受取利息	51	40	△ 10	△ 20.8%
受取配当金	13	20	6	51.8%
持分法による投資利益	-	21	21	-
生産物回収勘定引当金戻入益	-	27	27	-
為替差益	-	0	0	-
その他	99	45	△ 53	△ 54.0%
営業外費用	223	60	△ 162	△ 72.8%
支払利息	24	32	7	33.2%
持分法による投資損失	4	-	△ 4	-
生産物回収勘定引当金繰入額	10	-	△ 10	-
為替差損	171	-	△ 171	-
その他	12	28	15	120.8%

2018年3月期第2四半期 純利益 増減要因分析

INPEX



*生産物回収勘定引当金繰入額(戻入益)

貸借対照表

INPEX

(億円)	17年3月期末	18年3月期 第2四半期	増減	増減率
流動資産	9,429	7,514	△ 1,914	△ 20.3%
有形固定資産	19,285	20,456	1,171	6.1%
無形固定資産	5,212	4,993	△ 219	△ 4.2%
生産物回収勘定	6,119	5,911	△ 208	△ 3.4%
その他	4,242	5,722	1,480	34.9%
生産物回収勘定引当金	△ 1,168	△ 902	265	△ 22.7%
資産合計	43,121	43,696	574	1.3%
流動負債	2,974	2,851	△ 123	△ 4.2%
固定負債	8,071	8,718	646	8.0%
純資産	32,075	32,126	51 ●	0.2%
(うち非支配株主持分)	2,643	2,637	△ 6	△ 0.3%
負債・純資産合計	43,121	43,696	574	1.3%
1株当たり純資産額 (円)	2,015.38	2,019.36	3.98	0.2%

活用可能な手元資金残高※
5,460 億円

・現預金 5,352億円
・有価証券 55億円
・活用可能な投資有価証券 53億円

※現在計画している投資に充当される
待機資金

イクシス下流事業会社(持分法適用)
の要約財務情報(100%ベース、内当
社株式比率は62.245%)

・流動資産 582億円
・固定資産 3兆3,789億円
・総資産 3兆4,372億円

株主資本合計 +170億円
その他の包括利益累計額△111億円

・その他有価証券評価差額金 +18億円
・繰延ヘッジ損益 +28億円
・為替換算調整勘定 △158億円

キャッシュ・フロー

INPEX

(億円)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
税金等調整前純利益	1,321	1,954	632	47.8%
減価償却費	432	454	21	5.0%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	372	349	△ 22	△ 6.1%
生産物回収勘定(非資本支出)の増減額	△ 15	12	28	-
法人税等の支払額	△ 1,104	△ 1,437	△ 332	30.1%
その他	159	78	△ 81	△ 51.1%
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,166	1,411	245	21.0%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	1,663	734	△ 928	△ 55.8%
有形固定資産の取得による支出	△ 1,431	△ 1,392	39	△ 2.8%
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△ 1	△ 1,263	△ 1,261	-
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△ 243	△ 136	106	△ 44.0%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 654	△ 234	420	△ 64.2%
その他	△ 93	7	101	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 762	△ 2,283	△ 1,521	199.6%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 264	423	688	-
現金及び現金同等物の期末残高	625	2,708	2,083	333.3%

2018年3月期 第2四半期 業績予想値と実績値との差異

INPEX

◆前提条件

(2017年8月4日)	第2四半期連結累計期間 (前回発表予想)
Brent 油価(\$/bbl)	50.4
為替レート(円/US\$)	110.6
↓	
(2017年11月8日)	第2四半期連結累計期間 (実績)
Brent 油価(\$/bbl)	51.5
為替レート(円/US\$)	111.1

◆ 第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異(2017年4月～9月)

	前回発表予想 (2017年8月4日)	実績値	増減	増減率
売上高 (億円)	4,300	4,479	179	4.2%
営業利益 (億円)	1,640	1,858	218	13.3%
経常利益 (億円)	1,760	1,954	194	11.0%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	280	301	21	7.7%

2018年3月期 連結業績予想の修正



◆前提条件

(2017年8月4日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	50.4	50.0	50.2
為替レート(円/US\$)	110.6	110.0	110.3



(2017年11月8日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	51.5 ※1	55.0	53.3
為替レート(円/US\$)	111.1 ※2	110.0	110.5

※1 第1四半期実績\$50.8/bbl、及び第2四半期実績\$/52.2bblによる。 ※2 第1四半期実績111.1円/\$、及び第2四半期実績111.0円/\$による。

◆連結通期業績予想(2017年4月～2018年3月)

	前回予想 2017年8月4日	今回予想 2017年11月8日	増減	増減率
売上高 (億円)	8,390	8,770	380	4.5%
営業利益 (億円)	3,090	3,410	320	10.4%
経常利益 (億円)	3,370	3,670	300	8.9%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	520	520	-	-

◆1株当たり配当金

	第2四半期末	期末(予想)
2018年3月期 (円)	9	9